

農山村の地域資源を次世代に

「都市と農山村をつなぐボランティア活動」

# とちぎ夢大地応援団

令和2年度とちぎ夢大地応援団活動



▲佐野市多田地区：とちぎ夢大地応援団員13名参加

令和2年度とちぎ夢大地応援団カレッジ活動



▲日光市土呂部地区：文星芸術大学4名、宇都宮クラーク高等学校13名参加

令和2(2020)年度とちぎ夢大地応援団活動を10月に佐野市多田地区で、第3回とちぎ夢大地応援団カレッジ活動を11月に日光市土呂部地区で実施しました。土呂部地区においては、前回に引き続き2回目の活動となります。(2頁)

また、活動時に行ったアンケート調査の集計結果を報告します。(3頁～4頁)

はばたけ夢大地  
第30号 2021/2

とちぎ夢大地応援団事務局  
(公財)栃木県農業振興公社  
栃木県農政部農村振興課

## とちぎ夢大地応援団活動報告(令和2年10月31日実施)



佐野市多田地区で刈り払いを実施しました。

- ① はじめに、主催者の柴田保全会の毛利会長から参加した皆さんへあいさつがありました。台風やコロナ禍の影響で思うように活動が出来なかったこと等、近況の報告もされました。
- ② 秋晴れの中、背丈以上に伸びたススキなどの雑草を刈払機を使って刈り取りました。
- ③ 作業後には、視界が開け、遠くまで見通せるようになりました。



## とちぎ夢大地応援団カレッジ活動報告(令和2年11月8日実施)



日光市土呂部地区で茅ポッチの搬出作業を実施しました。

- ① 令和2年10月18日の活動で作製、乾燥させた茅ポッチをばらして、運搬しやすいようにまとめ直しました。天気にも恵まれ、作業は順調に進みました。
- ② ばらした茅ポッチを近隣の牛舎に運び、牛のエサとして利用されている様子を見学しました。
- ③ 作業後は、茅場を散策し、かつてスキー場だった斜面を登り、展望台から紅葉した山々を望みました。



# とちぎ夢大地応援団A会員の皆様にアンケート調査を実施しました。

今年度、とちぎ夢大地応援団活動に参加した団員に、協働活動に対する意識や活動の現状を把握することを目的にアンケート調査を実施しました。

調査結果を踏まえ、今後の協働活動の推進を図っていきます。

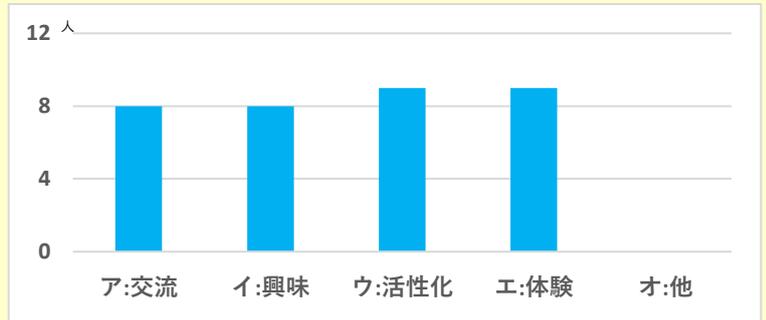
とちぎ夢大地応援団アンケート集計（サンプル数：21） 男性：女性比＝19：2

年代別＝20代：2名、30代：3名、40代：1名、50代：1名、60代：5名、70代：8名、80代：1名

## 1 夢大地応援団の活動について、どのような考えをお持ちですか？

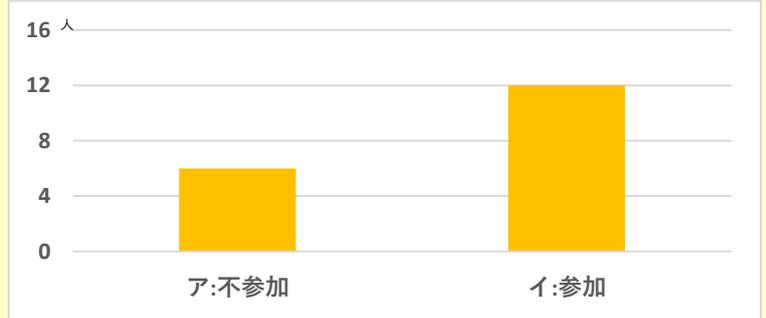
- ア いろいろな人と交流ができる
- イ 農業（農村地域）に興味がある
- ウ 農村地域を活性化したい
- エ いろいろな体験をしたい
- オ その他

（複数回答）



## 2 過去1年間で活動に参加しましたか？

- ア 参加していない
- イ 参加した

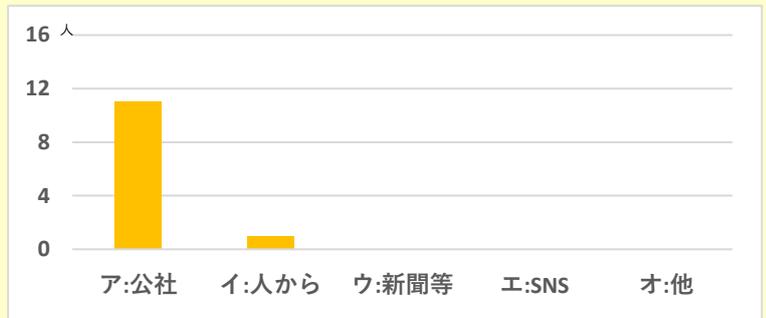


『イ 参加した』と答えた人に伺います。

### 2-1 活動情報はどこから入手しましたか？

- ア 会社からの案内、ホームページ
- イ 参加している人から聞いて
- ウ 新聞や雑誌
- エ SNS
- オ その他

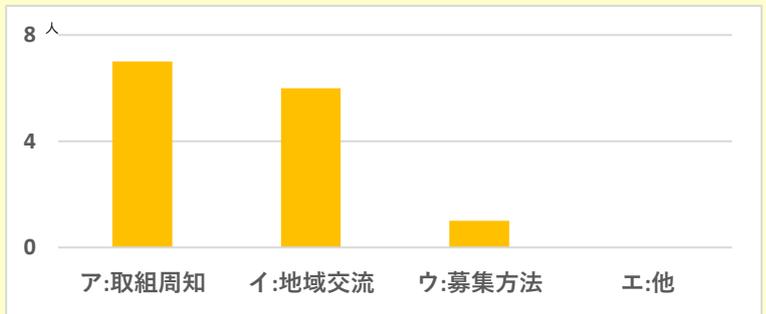
（複数回答）



### 2-2 活動に参加するにあたり、必要だと思うことはありますか？

- ア 取組の周知（情報発信）
- イ 地域との交流（地域の情報）
- ウ 募集方法の工夫（SNS等の活用）
- エ その他

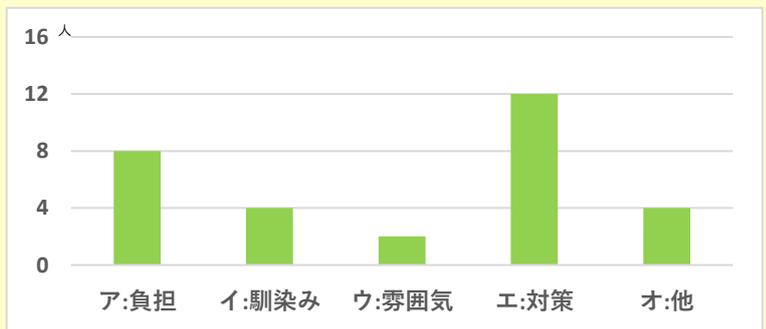
（複数回答）



## 3 活動に応募、参加するにあたり、不安だったことはありますか？

- ア 身体的な負担の程度（重労働、危険かなど）
- イ 地域の人に馴染めるか
- ウ 地域の雰囲気分からない
- エ 新型コロナウイルス感染症などへの対策
- オ その他

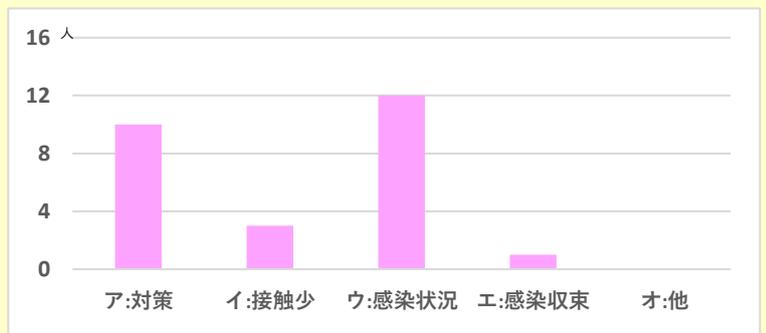
（複数回答）



#### 4 コロナ禍での活動に対し、どのように感じますか？

- ア 対策がとられていれば積極的に参加したい
- イ 他の人との接触が少なければ参加したい
- ウ 感染拡大の状況を見ながら参加したい
- エ 感染症が収束するまでは参加しない
- オ その他

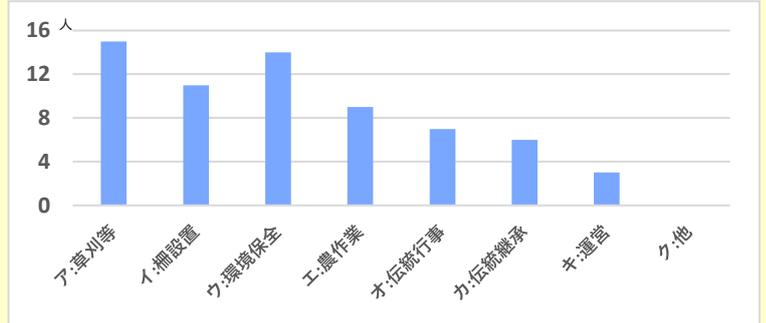
(複数回答)



#### 5 今後、参加したい協働活動や地域活動は？

- ア 田畑の草刈りや水路の清掃
- イ 獣害防止柵の設置
- ウ 生き物観察や動植物の環境保全活動
- エ 農作物の植付けや収穫などの農作業
- オ お祭りなどの地域行事や伝統行事の継承
- カ 郷土料理や伝統食づくりなどの継承
- キ 活動の運営スタッフ
- ク その他

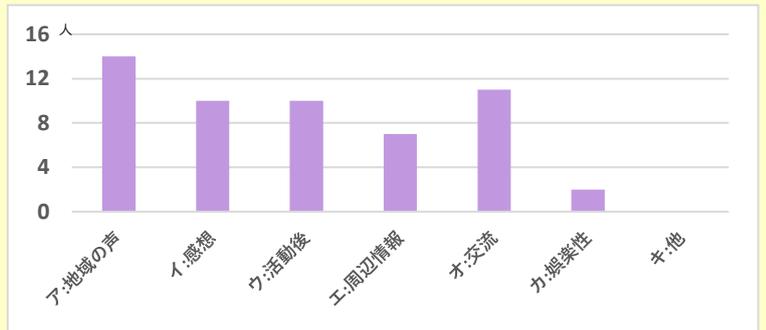
(複数回答)



#### 6 協働活動に継続参加するために必要なものは？

- ア 地域が困っている声などの情報
- イ 地域の感謝の声や参加者の感想
- ウ 協働活動後の地域の情報
- エ 活動地域周辺のお勧めスポット情報
- オ 地域や参加者との交流
- カ 参加ポイント制などの楽しさ
- キ その他

(複数回答)



### 農村地域のお悩みを解決するために「相談窓口」を開設しました！

栃木県では、農村地域の活性化に向けた「お悩み」を解決するために『相談窓口』を開設しました。

特に、高齢化や人口減少が進んでいる中山間地域の地域組織を対象に相談を受け付けています。

『相談窓口』は、地域活性化を専門とするNPO法人のホームページに設置しています。

- ・地域に若者を呼び込みたい！
- ・伝統文化を継承したい！

などなど・・・

お気軽にご相談ください。

ご不明な点は、県農村振興課までご連絡願います。

【相談窓口】（50音順）

**NPO法人宇都宮まちづくり市民工房**  
対象地域：日光市、矢板市、那須塩原市、塩谷町



**NPO法人自然史データバンクアニマnet**  
対象地域：栃木市、佐野市、鹿沼市



**NPO法人トキギ環境未来基地**  
対象地域：大田原市、那須烏山市、茂木町、那須町、那珂川町



QRコードを  
チェック!!

### とちぎ夢大地応援団

事務局 (公財) 栃木県農業振興公社  
農政推進部

栃木県農政部  
農村振興課

〒320-0047 栃木県宇都宮市一の沢2-2-13  
☎ 028-648-9515 FAX 028-648-9517

とちぎ夢大地応援団

検索

← クリック

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20  
☎ 028-623-2334 FAX 028-623-2337